

救命救急センターでは、出血性ショックの患者さんを対象として、「大動脈内バルーン閉塞の有効性と安全性に対する観察研究」を行っております。

当科では大動脈内閉塞バルーン(IABO)を必要とする患者さんを対象に、その有効性・安全性を評価するために観察研究を行っております。当施設での観察研究と同時に、本邦および海外の他施設と共同してデータを集積することでより詳細で正確な研究が遂行できるため、欧州施設とともに「The ABO Trauma Registry」(中央施設：Sweden , Orebro 大学)にも登録を行っております。観察研究にご協力いただいた場合でも、患者さんの個人情報が公開されることはありません。観察研究には氏名、住所などの記入の必要はなく、個人情報の管理・保護には万全を期しますので、観察研究へのご理解とご協力をお願いいたします。

本観察研究結果に関しては、学会や論文で公表し、今後の診療に役立てられる予定です。なお、本観察研究に伴う倫理的問題については、倫理委員会の承認を受けております。

実施責任者 救命救急センター 教授 溝端康光